

6年Ⅲ期1回 ポイント学習【グラフの読み取り／投影図】

* グラフから割合を求める

〈例題〉

グラフ1・2で、2010年の沿岸漁業の生産量は、海面漁業・養殖業全体の約何%をしめていますか。

計算結果が小数になった場合は、そのつど小数第1位を四捨五入し、答えは整数で答えなさい。

〈解説〉

グラフ2の沿岸漁業の割合(31%)は、海面漁業の内訳で、海面漁業・養殖業全体の内訳ではないことに注意しましょう。

まず、2010年の海面漁業・養殖業全体の生産量は、

$$412 + 111 = 523 \text{ (万 t)}$$

2010年の沿岸漁業の生産量は、

$$412 \times 0.31 = 127.72 \rightarrow 128 \text{ 万 t}$$

よって、2010年の沿岸漁業の生産量が、海面漁業・養殖業全体にしめる割合は、

$$128 \div 523 = 0.244 \dots \rightarrow \underline{24\%}$$

このように、2つのグラフを照らし合わせて、「あるもの」の割合を求める場合は、「あるもの」の量、全体の量がいくらなのかを見極めて(場合によっては何らかの計算をして)、最終的に、

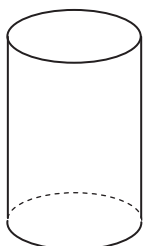
$$(\text{あるものの量}) \div (\text{全体の量})$$

という計算をして求めます。

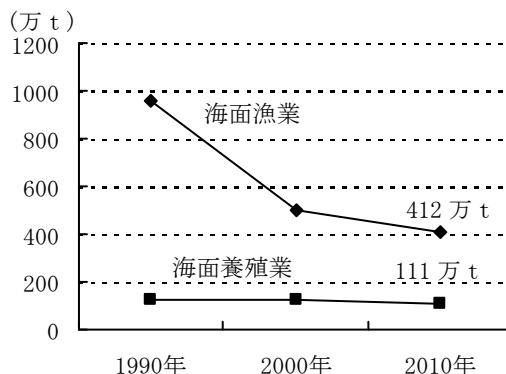
* 投影図

ある立体を、正面、真上、真横から見た図による表し方を投影図といいます。

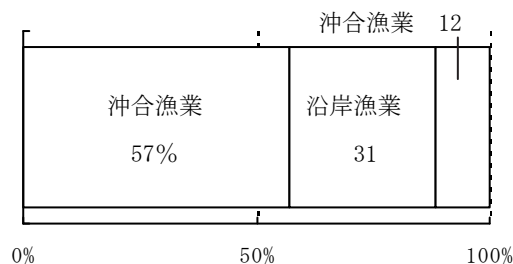
たとえば、円柱の投影図は右のようになります。



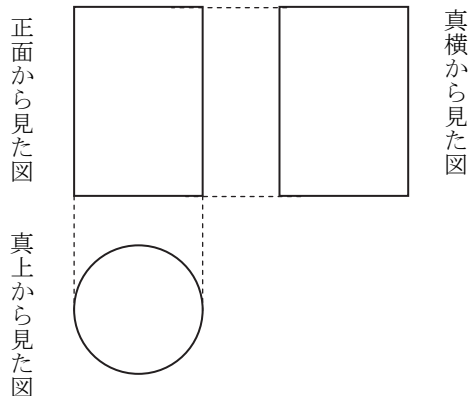
グラフ1 海面漁業・養殖業の生産量



グラフ2 海面漁業の内訳 (2010年)



(『日本国勢図会 2013/14』による)



6年Ⅲ期1回 適性検査Ⅰ

△テスト時間…45分▽

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「父母ニ孝ニ」というのは、私たち*教育勅語で鍛えられた人間が、耳にタコができるほど聞かされた文句であるが、そんならお前たちは、どんな親孝行をしてきたのかといわれると、返答に*窮するほど、私には親孝行の思い出というものが少ない。これは単に私だけでなく、大ていの人がそうではないかと思う。

試みにわが家の老妻に、なにか親孝行をした思い出があるかときいてみると、いろいろ考えたあげく、「お父さんがチフスで病院に入ったとき、病院の長い階段を手を引いて一緒に昇ってあげたことがある」とオニの首を取ったようにいった。しかし私にはその程度の思い出ですらない。

第一私の亡父はいつも元氣いっばいで、その上短気で、かんしゃく持ちだったから、お父さん足もとがあぶないですよ、手を引きましようかなどといったら、叱りとばされたにちがいない。

そんなら、おふくろに対してはどうだったかというところ、これは晩年多少大切にすることはあるが、ナマイキさかりの年頃には、完全にバカにしている、親不孝の思い出ばかりが浮かんでくる。

ただ、多少の弁解を許してもらえれば、私には積極的に親孝行をした思い出はないにしても、積極的に両親に心配をかけたことはほとんどなかった。上級の学校にはちゃんと入ったし、就職口も勝手に見つけてきて、^①親に口をきいてももらったりはしなかった。それに生来健康で（これは私が両親に感謝する最大の恩であるが）大病はしなかったし、素行のことで気をもませたこともない。

亡父の友人で、道楽息子のために手を焼いていた人がいて、父が死んだとき私をつかまえて、「あんたは親に心配をかけなくて孝行者だった」とほめてくれたことがある。してみると私は親孝行ではなかったにしても、親不孝

ではなかったということができよう。

だが、今の私にはそんなことは少しも嬉しくないのである。むしろ、もつと心配をかけたことがあってもよかった、そのかわり、両親が心から満足して嬉しそうに笑った顔が目に見えなくなるような楽しい思い出をたくさん持ちたかったと、この年になってしみじみ思うのである。

私は最近、佐藤藤三郎著『二五歳になりました』（百合出版刊）というたいへんいい本を読んだ。佐藤さんは、有名な無着成恭先生の「山びこ学校」で教わった優等生であるが、この本のなかに、次のような記事があった。

「このあいだ、母のためにメリヤスのズボンを買ってきてやったとき、母は、『生まれて初めて新しいメリヤスのズボンをはいた。親にも夫にも、こんなにいいものを買ってもらったことがなかった。息子っていうものは、こんなにいいものか……』」

としんみり語り、涙を流してよろこんでいました。お世辞であったのかもしれませんが、私はひとり泣けて仕方がなかったのです。たった三百円のメリヤスのズボンでしたが、母は何よりもよろこんでくれるのをみると、悲しくって涙がとめどなかったのです」

そのお母さんの、涙を流してよろこぶ顔が目の前に浮かぶようで、私も感動したが、しかしこの本に出てくる佐藤さんは、いわゆる親孝行な息子ではない、母親の不賛成を承知で、「自分勝手なことはかりして生きてきた」息子である。「今になっても、母の願うような息子になりることができずにおります。母が、父と私との間にはさまれて苦労を重ねていることを、いくらわかっていても、母のよい息子になりることができずにおるのです」と佐藤さんは書いています。

私はそれでいいのだと思う。子供は自分の信じる道を生きるのが第一であって、^②親の思わくを気にしたり、それに*迎合したりする必要は少しもない。しかし、だからといって、親を悦ばして悪いということも決してない

はずである。

だが、子供というものは、年頃になると、こんなふうにしてやると親は悦ぶものだというをよく知っていながら、そうすることがなにかわざとらしい、見えすいたことに思えて、わざとそしらぬ顔をしたり、その反対の行動に出たりするものである。私自身にその経験があるから、その気持ちは十分に察しられる。のみならず、親としても、わが子から意識的に優しくされたりすると、かえってくすぐったい気持ちになるものである。それにもともと、③大ていの親は、子供からの愛情の*報酬を受けようなどとは思っていない。

西洋のことわざに「愛情はさかのぼらず」というのがあるそうである。愛情は親から子へは自然にくだるものだが、子から親へは逆流しにくいという意味であるが、これについて辰野隆先生は次のように書いている。

「われわれは子どものじぶんから、親にかわいがられたのであります。それとくべつにありがたいとは思わないのは、当然なこと、すこぶる自然なことと、知らずしらずに思っているからであります。ところが、子どもが気まぐれで、親にやさしいことをかけたり、坂道で手をひいたり、うしろから押してやったりすると、親はあたりまえのこととは思わずに、意外なよろこび、おどろきの表情をしめすものです。こんなわずかなことで親がうれしがるなら、これからもたびたびやってやろうと、そのときは思うのですが、とかくあとがつづかない。しかも親は、そんなことは気にもとめていないのであります。まず、親子というものは、一般には、こうしたものではないかと思えます」

全くそのとおりだと私も考える。親孝行ということが、ことさら問題にならないような親子の関係が最も自然で、美しいといえるのである。

ところで、私たちが、疲れ切つて電車やバスに乗っているとき、若い元気な学生さんが、立ち上がつて座席を代わつてくれたりすると、ひどく嬉しい

ものである。きつと、いい両親に恵まれた息子さんだと思う。また道に迷っているときに、若い娘さんから詳しく親切に教えてもらったりすると、その娘さんは、きつといい家庭に育つたお嬢さんにちがいないと、おくゆかしい気持ちになる。そして、わが家の息子や娘たちは、こんなときにはどうするだろうかと、おのずから考えざるをえない。

そのとき、彼らもまた、きつと優しく、親切にふるまうだろうという確信がもてるなら、その親は幸福な親といってよい。

自分の家では、とり立てて子供たちから優しくされた覚えはなくても、彼らの性質や、平素の行動から、人に対して親切か、そうではないかは自然に親にはわかるものである。私は、子供として、そういう安心感を親に与えることができるような子供であつてほしいと思うのだ。

もちろんそのためには、親、とくに父親の平素の行動が大切である。親が薄情で身勝手な家庭から、優しい子供が生まれるはずがないからである。

わざとらしい親孝行は、親子ともに好まないことはすでに書いたが、しかし親というものは、いつでも子供から優しく、親切にしてもらえらうという確信を持ちたいと思つていることも事実である。その確信さえ与えられないなら、それで十分で、それ以上は決して親は求めない。私は自分の過去を*顧みて、少なくとも親不孝ではなかつたと思つるのは、その種の安心感だけは親に与えることができたろうと思つたからである。しかし今となって悔やまれるのは、もう少し積極的に親を悦ばしておけばよかつたということである。といつて、私は子供たちにそれを求めるのではない。ただ親を悦ばした思ひ出の少ないことを寂しがっているだけである。

(河盛好藏『親とき合う法』より)

*教育勅語：明治時代に出された、教育の基本方針を示したもの。

*窮する：困る。

*迎合：他人の気に入るように調子を合わせること。

*報酬：仕事などの対価としてもらう金銭や物品。

*顧みる：過ぎ去ったことを思い起こす。

(一)——線①「親に口をきいてもらったりはしなかった」とは、どういうことですか。自分の言葉でわかりやすく説明しなさい。

(二)——線②「親の思わくを気にしたり、それに迎合したりする」とは、たとえばどのようにすることなのか。あなたが中学受験をする場合を例にとり、自分の言葉で説明しなさい。

(三)——線③「大ていの親は、子供からの愛情の報酬を受けようなどとは思っていない」とは、どういうことですか。わかりやすく五十字以内で説明しなさい。

(四)筆者は、自分の両親への親孝行について、どのような感想を持っていますか。五十字以内にまとめて答えなさい。

(五)文中の「苦勞」という熟語は、上の漢字と下の漢字を入れかえて「勞苦」という別の熟語を作ることができます。

同様に、上の漢字と下の漢字を入れかえて別の熟語を作ることができます。二字熟語を五つ考えて答えなさい。なお、同じ漢字を重ねたもの、「田中」などの固有名詞は除きます。

〔作文問題〕

(六)今のあなたには、どのような親孝行ができると思いますか。具体例をまじえながら三百字以内で書きなさい。

〈注意〉

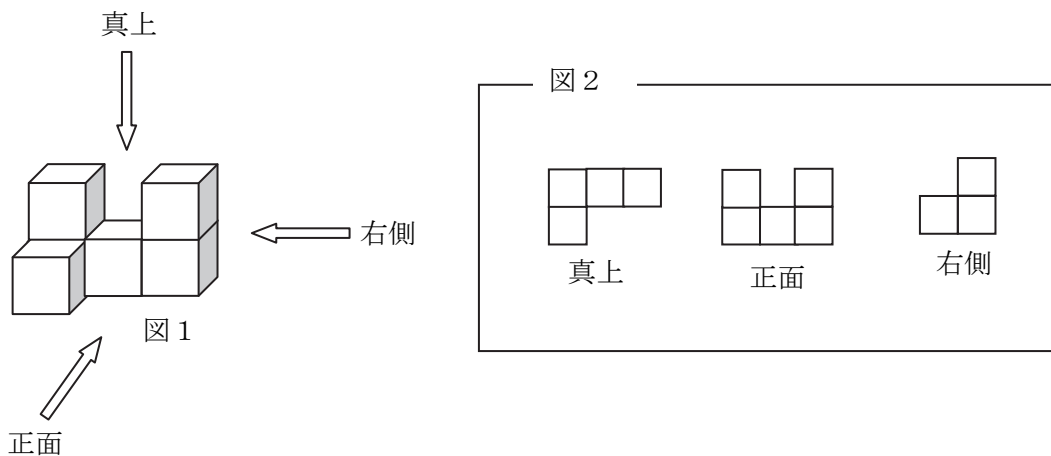
- ・題名、氏名は書かずに、本文から書き始めなさい。
- ・原稿用紙の使い方に従い、必要に応じて、段落を変えて書きなさい。

6年Ⅲ期1回 適性検査Ⅱ

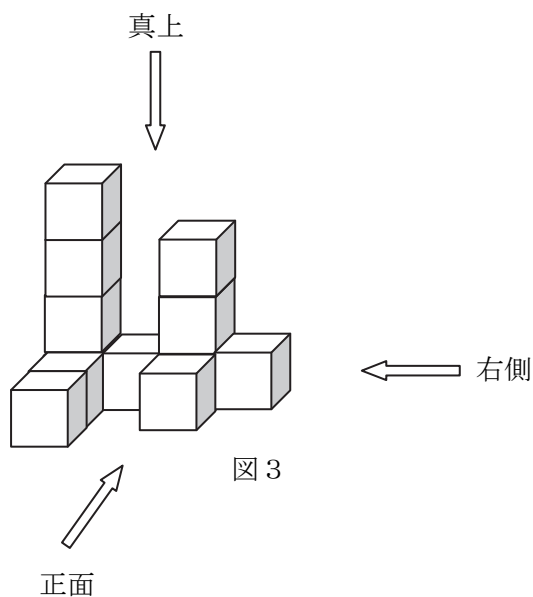
〈テスト時間：45分〉

1. 例を参考にして、あとの問に答えなさい。

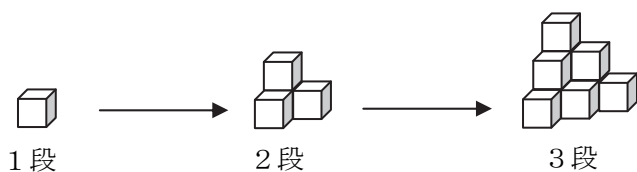
例) 立方体を図1のように積み、真上、正面、右側から見た場合、図2のようになります。



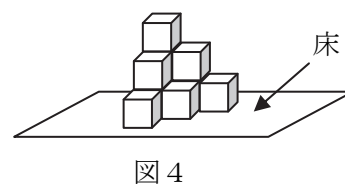
(1) 図3を真上、正面、右側から見た図をそれぞれ書きなさい。(解答用紙の点線をなぞって書きなさい。)



(2) 次に、立方体を次のように積んでいきました。8段目まで積んだときの立方体の数は、全部で何個になりますか。



(3) (2)と同じように、立方体を6段目まで積み、見えている部分全てに色をつけました。このとき、3面だけ色がついた立方体は全部で何個ありますか。ただし、図4のように床ゆかに接している面は色をつけないものとします。



2. たけし君とさちこさんが「塩」について話しています。2人の会話を参考にして、あとの問いに答えなさい。

たけし：ぼくたちは、今では塩をふつうに使っているけど、昔はとても貴重なものだったんだそうだね。

さちこ：そうね。塩は私たちが生きていくのに必要不可欠なものね。古くから日本では、海水から塩をとり出していたんだけど、とても大変な作業だと聞いたわ。

たけし：確かに塩は、生きていくのに必要だね。それは今も昔も変わらなくて、昔は特に貴重なものだったという話を聞いたことがあるよ。

さちこ：そうね。昔は今と違って が難しかったから、少しでもそれをやりやすくするために、塩が使われていたんでしょう。代表的な食べ物としては、「梅干し」や「キムチ」などがあるわね。もちろん、肉や魚にも同じ理由で、塩が使われていたわ。

たけし：なるほど。そういえば、陸地でも塩がとれると聞いたんだけど。なぜ、陸地で塩がとれるのかな？

さちこ：それは、昔その場所が だったからよ。

たけし：なるほどね。

(1) 下線部について、次のア～エは、塩をとり出す伝統的な方法を簡単に説明したものです。塩を取り出す作業の順番として適切な順番になるよう、ア～エを並べかえなさい。

ア かわいた砂を集めて箱に入れ、そこに海水を注いで箱の下から出てくる「こい塩水」を集める。

イ 海から海水をくんでくる。

ウ 海水を砂地にまいて、日光でかわかす。

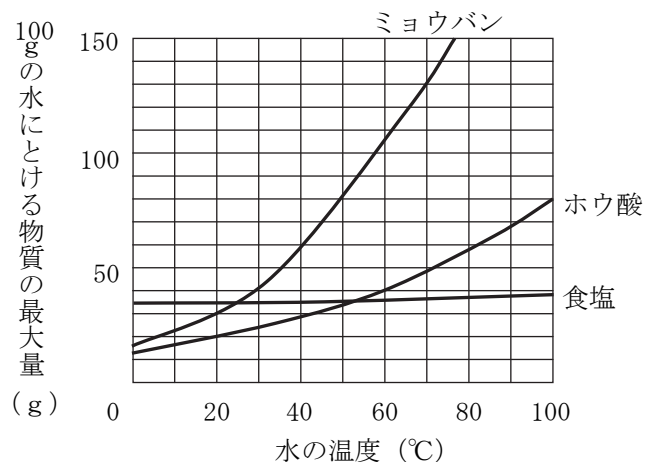
エ かまどで「こい塩水」を熱して、水を蒸発させる。

(2) に入る内容を考えて書きなさい。また、 に入ることばを答えなさい。

たけし君とさちこさんは、理科室で食塩水から塩をとり出す実験を行いました。

水の温度	食塩の量
10℃	17.9 g
20℃	17.9 g
30℃	18.0 g
40℃	18.2 g
50℃	18.3 g

表1 50mLの水にとける食塩の量



グラフ1

たけし：グラフ1を見ると，食塩は温度を変えても，水にとける量があまり変わってないね。

さちこ：そうね。ミョウバンは温度を高くすると，40℃をこえたあたりから急にとける量が増えているわね。

たけし：60℃の水にとけたミョウバンは，水の温度を下げることで，効率よくとり出すことができそうだね。

さちこ：食塩を効率よくとり出すには，どうすればいいかしら。

(3) 60℃の水 200 g にホウ酸をとけるだけとかしたあと，20℃まで冷やしました。何 g のホウ酸がとけきれずに出てきますか。

(4) 食塩水から食塩を効率よく取り出すには，どうすればよいでしょうか。表1，グラフ1を参考にしながら，そのような取り出し方をするのがよい理由もふくめて説明しなさい。

3. 次の文章を読んで，あとの問いに答えなさい。

みなさんは「エコカー」を知っていますか？

電気で回るモーターを使ったり，ガソリンで動くエンジンを改良したりして，燃料の消費や，二酸化炭素の排出を抑えることのできる自動車です。中でも電気モーターだけで走る電気自動車や，電気モーターとガソリンエンジンを必要に応じて使い分けるハイブリッド車は，地球温暖化が進んでいる今，二酸化炭素の排出を減らすためにとっても役に立つと思います。政府もこれらの自動車を普及させるため，特別な減税をしたりしたので，特にハイブリッド車は，ここ数年で種類も増え，私の家の近所や通学路でもたくさん見かけるようになり，とても身近なものになってきました。

しかし，電気自動車やハイブリッド車が増えるということは，一方でこれまで以上に注意しなければいけないこともあると思います。

以前，私がせまい道路を自転車で走っているときに，後ろからハイブリッド車が近づいてきたことがありました。しかし，A。

運転しているときに静かなのは，電気自動車やハイブリッド車の魅力の一つですが，見方を変えれば，危険な点もあるのだということを実感しました。

この問題は，テレビのニュースなどでも取り上げられていて，事故になってしまうことが心配されています。では，どうすればこのような事故を防ぐことができるのでしょうか。

電気自動車やハイブリッド車を運転する人は，自分の車が歩行者に気づかれにくいということを自覚しておかなければならないと思います。「相手は自分に気づいている」という思いこみが，大きな事故につながるのかもしれない。

しかし，事故の原因が必ずしも車を運転する側にあるとは限りません。私は普通に自転車で乗っていましたが，背後から来るハイブリッド車に気づきませんでした。ましてや，イヤホンで音楽を聴きながら自転車に乗っていたら，一般的なガソリン車の音にもなかなか気づかないと思います。これでは，いくら車の運転者が注意しても事故は減りません。

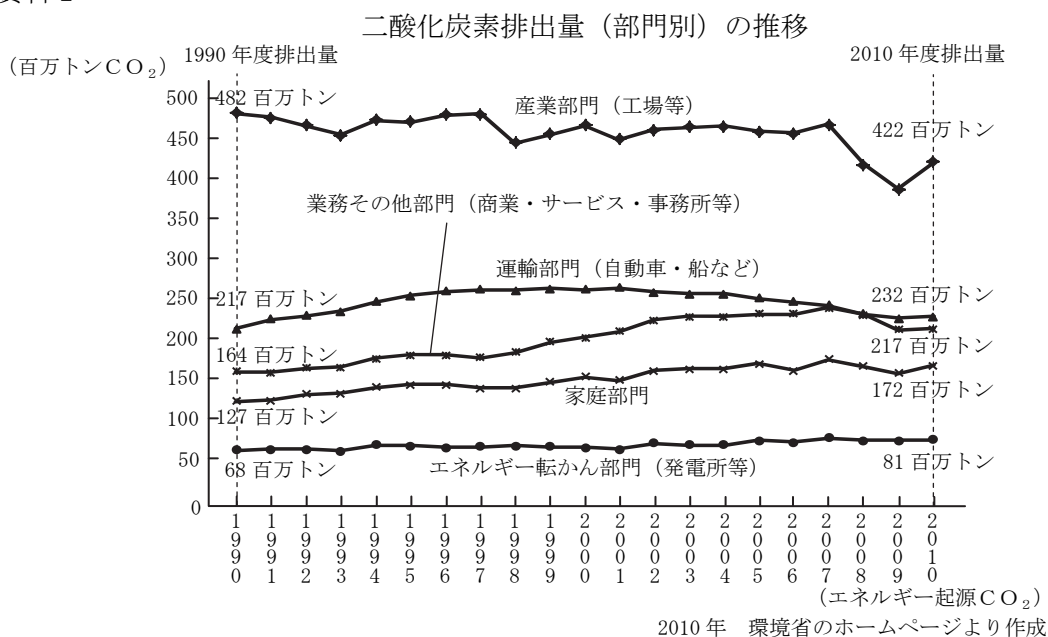
運転者と歩行者がどちらも注意深く行動すれば，電気自動車やハイブリッド車に限らず交通事故は減るはずですが。電気自動車やハイブリッド車は科学技術の進歩の象徴ですが，最大に活用するため

に一番大切なのは、一人一人の心がまえなのではないでしょうか。

(1) 空らん A に、筆者が体験したであろうことを想像して、文章の流れに合うように40字以上50字以内で書きなさい。

(2) 下線部「地球温暖化が進んでいる今、二酸化炭素の排出を減らすためにとても役に立つ」とありますが、二酸化炭素排出量を減らすために自分たちができる工夫について、次の資料1～資料4をもとにして、アとイの2つの意見をまとめました。

資料1



資料2

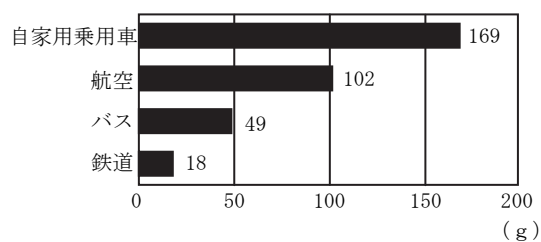
1人1日あたりの二酸化炭素削減量さくげん

シャワーの利用時間を1日1分短くする	74 g
風呂の残り湯をせんとくにする	7 g
入浴は間かくをあけずに行う	86 g
使わないときは温水洗じょう便座のフタを閉める	15 g
テレビを見ないときは消す	13 g
1日1時間パソコンの利用を減らす	13 g
主電源をこまめに切って待機電力を節約	65 g
夏の冷房の設定温度を26℃から28℃に2℃高くする	83 g
冬の暖房の設定温度を22℃から20℃に2℃低くする	96 g

2010年 全国地球温暖化防止活動推進センターのホームページより

資料3

1人を1km運ぶときに排出される二酸化炭素の量（旅客）



資料4

運輸部門における二酸化炭素排出量

自家用乗用車	自家用貨物車	営業用貨物車	その他 (バス・タクシー 航空・鉄道など)
1億1,680万トン	3,909万トン	4,203万トン	
50.4%	16.9%	17.3%	17.3%

2010年 国土交通省のホームページより作成

意見

ア 1990年から2010年までの二酸化炭素排出量の変化を見ると、部門の増加の割合が最も大きいことがわかります。これを減らすためには、ふだんの生活の中で、に気をつけると、効果が大きいことが、資料から読み取れます。

イ 2010年の二酸化炭素排出量のうち、自家用乗用車による排出量は、全体の約%であることがわかります。これを減らすためには、自家用乗用車での外出をひかえて、すると、効果が大きいと思います。

空らん～にあてはまる、最も適した言葉を答えなさい。ただし、とは10字以上20字以内で、は小数第1位を四捨五入した整数で答えなさい。

(3) アとイそれぞれの意見は、資料1～資料4のうち、どの資料をもとにした意見ですか。もとにした資料をすべて選んで、番号で答えなさい。

6年III期1回 解答例と考え方

適性検査 I

【解答例】

- (一) 就職口を見つけるため、親に知り合いの会社などに自分を紹介してもらったりはしなかったということ。
- (二) 親がどのような学校に入ってほしいかを考えたり、自分が希望しなくても親が望んだ学校を受験したりすること。
- (三) ふつう、親は子供に愛情を注いでも、子供からその見返りに何かをしてほしいなどとは思わないということ。
- (四) 親不孝ではなかったと思っているが、もう少し積極的に親孝行をしておけばよかったと悔やんでいる。
- (五) 社会、回転、知人、日中、分配 など
- (六) ぼくは、週に二日塾へ通い、週末はサッカー教室へ通っている。どちらも自分が希望して通わせてもらったものだ。父も母も「別にどこの学校へ行きなさいとか、サッカー選手を目指しなさいとか言わないから、やりたいことをやりなさい」と言ってくれた。そんなふうに分をゆるやかに見守ってくれる両親に、ぼくはとても感謝している。
- そんな両親に今ぼくができる親孝行は、勉強もサッカーも一生けん命やることだと思っている。将来ぼくがどのような道に進んでいくのか自分でも想像がつかないが、今できることを精いっぱいやる。そんなぼくの姿を見て、両親は喜んでくれ、それが親孝行になってくれればよいと思う。

【配点】

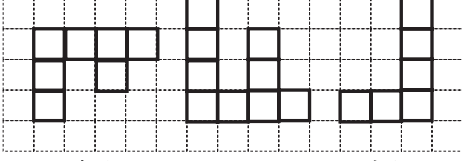
- (一)～(四) 10点×4、(五) 2点×5 (六) 50点

【考え方】

- (一) ここでは筆者の就職口の話をしていて、「口をきく」は「ある会社などに、自分の家族や知人を採用してもらえないかという気持ちをこめて紹介する」という意味で用いられています。
- (二) 「思わく」は「頭に思いえがいていること。意図」という意味です。親の思わくを気にする、親に迎合する、という二つの表現を、具体例を挙げてうまく説明できるとよいでしょう。
- (三) 「報酬」とは、問題の語句説明にもあるように、何かをした対価としてもらうもののことで、この場合、親が子供に愛情を注いだ対価として何かをしてもらうということを指しています。「無償の愛」という言葉があるように、ここでは、親の愛は見返りを求めないものであるということをおわんとしています。
- (四) 「両親が心から満足して嬉しそうに笑った顔が目に浮かんでくるような楽しい思い出をたくさん持たなかったと、この年になってしみじみ思う」「少なくとも親不孝ではなかったと思う」「今となっては悔やまれるのは、もう少し積極的に親を悦ばしておけばよかったということである」という部分に筆者の感想が表れています。
- (六) 家の手伝いをするとか、肩をたたいてあげるとか、身近でできることはいくつもあると思いますが、そのような例を挙げて書く場合は、なぜそうしようと思ったのかなどを付け加え、単に「…する。」という単調な作文にならないように気をつけましょう。

適性検査Ⅱ

【解答例】

1. (1)  (2) 120 個 (3) 10 個

真上 正面 右側

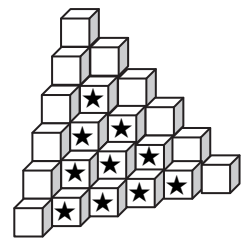
2. (1) イ→ウ→ア→エ (2) A 食物をある程度長いあいだ保存すること B 海
 (3) 40 g
 (4) 食塩は水の温度を変化させても、とける量があまり変わらないので、水を蒸発させて食塩を取り出すのがよい。
3. (1) ハイブリッド車は電気モーターで走っているときには音が静かで、近づいていることに気がつきませんでした。
 (2) B 家庭 C 設定温度を暖房は高め冷房は低めにすること D 10
 E バスや鉄道などの公共交通機関を利用
 (3) ア…1・2, イ…1, 3, 4

【配点】

1. (1) 10 点 (2) (3) 5 点×2 2. (1) 5 点 (2) A 10 点, B 5 点 (3) 5 点 (4) 10 点
 3. (1) 10 点 (2) B 5 点, C 10 点, D 5 点, E 10 点 (3) 5 点 (完答)

【考え方】

1. (2) 2 段目で (1 + 2) 個増え, 3 段目で (1 + 2 + 3) 個増え, 4 段目で (1 + 2 + 3 + 4) 個増え, 5 段目で (1 + 2 + 3 + 4 + 5) 個増え, 6 段目で (1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6) 個増え, 7 段目で (1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7) 個増え, 8 段目で (1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8) 個増えるので, 8 段目の個数の合計は, $1 + 3 + 6 + 10 + 15 + 21 + 28 + 36 = 120$ 個 となります。
- (3) 6 段積んだとき, 右図の★印をつけた立方体が 3 面ぬられているので, $1 + 2 + 3 + 4 = 10$ 個 となります。



2. (1) 日光を利用して海水を濃縮し, 塩を取るための設備を塩田といい, かつて瀬戸内地方などで発達しましたが, 今ではほとんど見られなくなりました。
- (2) A くさりやすい食べ物を, 長期保存のためや, 味付けをするため, 食塩につけておく塩づけとよばれる方法は, 古くから行われていました。
 B 陸上で見られる岩塩は, 大昔に海水がせき止められて蒸発したものと考えられています。
- (3) グラフ 1 より, 60℃の水 100 g には 40 g のホウ酸がとけるので, 200 g では, $40 \times 2 = 80$ g とけます。20℃の水 100 g には 20 g のホウ酸がとけるので, 200 g では, $20 \times 2 = 40$ g とけます。よって, 20℃に冷やすと, $80 - 40 = 40$ g のホウ酸がとけきれずに出てきます。
- (4) ミョウバンなど, 温度変化によるとける量の変化が大きい物質は, 水を冷やすことによって, とけきれずに出てくる固体を取り出すことができます。

3. (1) 直後の「運転しているときに静かなのは、電気自動車やハイブリッド車の魅力の一つですが、見方を変えれば、危険な点もあるのだということを実感しました。」という一文を手がかりに考えましょう。
- (2) B 資料1で1990年の数値と2010年の数値を比べると、家庭部門が、 $172 \div 127 = 1.35 \dots$ (倍)と増加の割合が最も大きくなっています。
- C 資料2で、1人1日あたりの二酸化炭素削減量が多いものに注目しましょう。
- D 資料1より、2010年の二酸化炭素排出量は、 $422 + 232 + 217 + 172 + 81 = 1124$ (百万トン)で、資料4より、2010年の自家用乗用車の二酸化炭素排出量は、1億1680万トン(116.8百万トン)ですから、 $116.8 \div 1124 = 0.103 \dots$ →約10%とわかります。
- E 資料3より、1人あたりの二酸化炭素排出量は、自家用乗用車が多く、バスや鉄道は少なめとなっている点に着目します。
- (3) ア (2)より、・を考えると、資料1・2を参照しています。
- イ (2)より、・を考えると、資料1・3・4を参照しています。

(一)

--

(二)

--

(三)

--

(四)

--

(五)

--

--

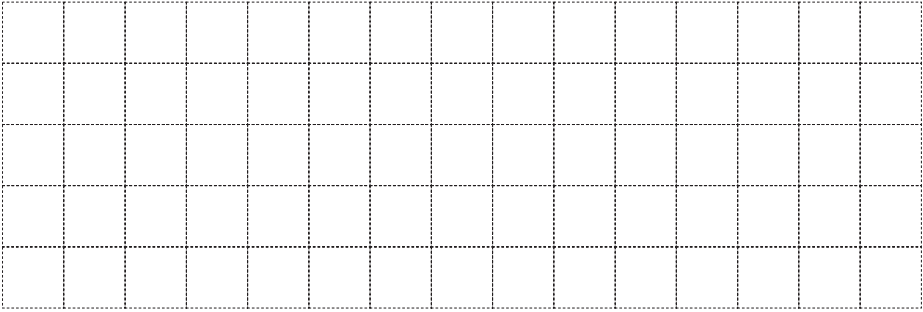
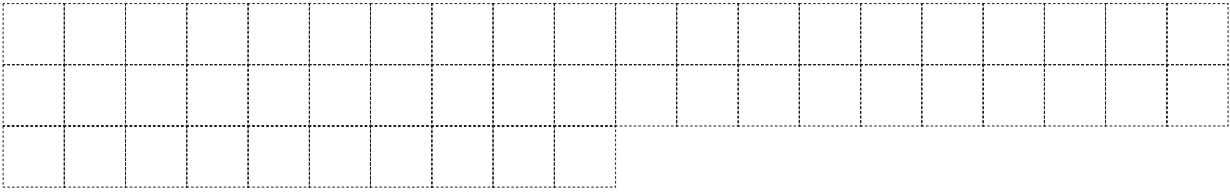
--

--

--

受検番号	氏名	合計点

6年Ⅲ期1回 適性検査Ⅱ 解答用紙

1.	(1)	 <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">真上 正面 右側</p>	(2)	個	
			(3)	個	
2.	(1)	→ → →			
	(2)	A			
	(3)	B	g		
	(4)				
3.	(1)				
	(2)	B	C		
	(3)	D	%	E	
	(3)	ア	イ		

受検番号	氏 名	合計点